



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日
上場取引所 東

上場会社名 MRKホールディングス株式会社
コード番号 9980 URL <https://www.mrkholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩田 徹

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 経営管理本部長兼 経営企画部長 (氏名) 中 研悟

TEL 06-7655-5000

定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	19,584	0.2	552	△31.3	617	△27.8	225	△56.2
2023年3月期	19,541	3.8	803	18.2	854	16.8	514	21.4

(注) 包括利益 2024年3月期 407百万円 (△27.0%) 2023年3月期 558百万円 (4.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	2.22	—	1.6	3.1	2.8
2023年3月期	5.08	—	3.7	4.8	4.1

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	22,021	14,558	66.1	143.73
2023年3月期	18,049	14,252	79.0	140.70

(参考) 自己資本 2024年3月期 14,558百万円 2023年3月期 14,252百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	△849	△2,414	3,271	2,564
2023年3月期	△264	△2,229	△239	2,556

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00	101	19.7	0.7
2024年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00	101	45.0	0.7
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00		17.5	

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,200	8.2	880	59.3	1,000	62.0	580	157.5	5.73

(注) 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況(3) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	101,295,071株	2023年3月期	101,295,071株
2024年3月期	537株	2023年3月期	477株
2024年3月期	101,294,549株	2023年3月期	101,294,660株

(参考) 個別業績の概要

2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	1,919	△12.4	292	△41.7	327	△30.9	103	△58.3
2023年3月期	2,190	0.8	502	23.9	474	△2.5	248	△19.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	1.02	—
2023年3月期	2.46	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2024年3月期	14,247	13,553	13,553	13,550	95.1	133.80	133.80	
2023年3月期	14,287	13,550	13,550	13,550	94.8	133.77	133.77	

(参考) 自己資本 2024年3月期 13,553百万円 2023年3月期 13,550百万円

※ 決算短信は公認会計士または監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況(3) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2024年5月15日に決算補足説明動画を開示するとともに、決算補足説明資料を当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 今後の見通し	5
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(表示方法の変更)	15
(セグメント情報)	16
(1株当たり情報)	19
4. その他	19
役員の異動	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

はじめに、2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当社グループは、女性の皆様が輝く人生を過ごしていただけるよう美と健康に関する多彩な商品・サービスを提供する『美の総合総社』の実現に向け、補整下着の販売を中心に、美容コスメや健康関連商品並びに、マタニティ及びベビー関連商品、婚礼・宴会関連事業、美容関連事業など、新たな商品の投入とサービスの拡充を推進しております。

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行されたことで経済活動の正常化が進む一方、為替相場やエネルギー価格の変動に加え、賃金や金利の上昇など、景気の先行きについて不透明な状況のなか推移いたしました。また、小売業界におきましては、物価上昇により消費者の生活防衛意識が一層強まるなか、厳しい競争環境が続いております。

このような状況のもと、婦人下着及びその関連事業において、主力商品「Belleages Avance Sakura (ベルアージュ アヴァンセ サクラ)」の11年ぶりの後継となる新商品「Liberdigne (リベルディーニュ)」の2024年1月の発売開始に向けて、新テレビCMの放映やWebプロモーションを強化するなど、新規顧客の獲得を継続的に推進し、顧客基盤をより盤石なものとしたことにより、当第4四半期においては売上が大きく伸びました。

しかしながら、新商品の受注が好調のなか、令和6年能登半島地震が発生し、新商品の縫製工場の一つが罹災し、生産遅延が発生したことで一時的に欠品となり、売上は計画を下回りました。

なお、提携工場をはじめ関係者の皆様のご協力により、3月下旬に欠品は解消し、お客様に安定して商品をお届けできる生産体制となり、3月単月においては直近10年で最高の売上を達成いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高195億84百万円(前期比0.2%増)、営業利益5億52百万円(前期比31.3%減)、経常利益6億17百万円(前期比27.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益2億25百万円(前期比56.2%減)となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[婦人下着及びその関連事業]

婦人下着及びその関連事業においては、補整下着の販売及びコスメや健康関連商品などの美や健康に関連する商品の販売が主要事業であります。

当連結会計年度においては、2023年3月期の商品価格値上げ前の駆け込み需要による反動減と、新型コロナウイルス感染症の5類移行にともなう規制緩和による消費の多様化により、一時的に客単価が低下するなど、当第3四半期まで、売上、利益ともに前年を下回って推移いたしました。

一方、2023年5月にお客様参加型のコンテスト「MCSA2023(マルコシンデレラストーリーアワード2023)」の開催や、長期ご愛用者様に向けたサービスの拡充など、顧客満足度の向上に努めるとともに、「MCSA2023」の受賞者にご出演いただいた新テレビCMの放映やWebプロモーションを強化するなど、新規顧客の獲得が順調に推移した結果、顧客基盤をより盤石なものいたしました。

さらに、2024年1月に11年ぶりとなる新商品「Liberdigne(リベルディーニュ)」を発売したことで、当第4四半期においては、売上は大きく伸びました。

しかしながら、新商品の受注が好調のなか、令和6年能登半島地震が発生し、新商品の縫製工場の一つが罹災し、生産遅延が発生したことで一時的に欠品となり、売上は計画を下回りました。

なお、提携工場をはじめ関係者の皆様のご協力により、3月下旬に欠品は解消し、お客様に安定して商品をお届けできる生産体制となり、3月単月においては直近10年で最高の売上を達成いたしました。

次に、店舗展開においては、新規のお客様に対応するべく5店舗の新規出店を行ったほか、9店舗の移転・改装を行い、既存のお客様にもご満足いただける店舗づくりを推進いたしました。

以上の結果、売上高は172億34百万円(前期比0.7%減)、セグメント利益は7億63百万円(前期比28.3%減)となりました。

[マタニティ及びベビー関連事業]

マタニティ及びベビー関連事業においては、マタニティ及びベビー向けのアパレルや雑貨の販売が主要事業であります。

当連結会計年度において、国内出生数が過去最少の見通しとなるなど厳しい環境のなか、付加価値のある新商品の投入と、販売価格及び販売戦略を見直したことで粗利率が向上し、さらに、不採算事業からの撤退などを進めた結果、収益構造の改善が進みました。

以上の結果、売上高は11億70百万円(前期比1.9%減)、セグメント損失は77百万円(前期は1億10百万円のセグメント損失)となりました。

[婚礼・宴会関連事業]

婚礼・宴会関連事業においては、結婚式場の運営やカフェ・レストランなどの飲食事業の運営が主要事業であります。

当連結会計年度において、法人営業体制の強化に取り組むなか、新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない、法人宴会の需要を着実に取り込むことに成功したことで過去最高の月間売上を記録したほか、自社主催を含めたイベント売上も伸長し、収益の改善が進みました。

婚礼事業においても、施行組数、成約件数が増加傾向で推移いたしました。

以上の結果、売上高は5億72百万円(前期比40.4%増)、セグメント損失は1億27百万円(前期は1億57百万円のセグメント損失)となりました。

[その他]

その他においては、美容関連事業などが主要事業であります。

当連結会計年度において、美容関連事業においては安定的な顧客基盤に加え、新規顧客の獲得が着実に実を結んだことから、売上が増加いたしました。

そのようななか、中長期的な成長を目指し、スタイリストの採用と育成のための先行投資を実施いたしました。

以上の結果、売上高は6億61百万円(前期比2.1%増)、セグメント損失は1百万円(前期は10百万円のセグメント利益)となりました。

※上記、各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は162億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億3百万円増加いたしました。これは主に、売掛金の増加、短期貸付金の増加、関係会社短期貸付金の増加の結果によるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は58億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円増加いたしました。これは主に、退職給付に係る資産の増加及び繰延税金資産の減少の結果によるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は55億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億25百万円増加いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の増加、買掛金の増加及び賞与引当金の減少、未払法人税等の減少の結果によるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は18億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億40百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加の結果によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は145億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億6百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加、退職給付に係る調整累計額の増加の結果によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は25億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ、8百万円増加いたしました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は8億49百万円(前年同期は2億64百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の計上6億9百万円、仕入債務の増加4億3百万円及び未払金の増加1億81百万円等による資金の増加、売上債権の増加11億11百万円及び棚卸資産の増加6億3百万円、法人税等の支払額3億88百万円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は24億14百万円(前年同期は22億29百万円の減少)となりました。これは主に、関係会社貸付金の回収による収入52億円等による資金の増加、関係会社貸付けによる支出62億円、貸付けによる支出10億円及び有形固定資産の取得による支出2億64百万円等による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は32億71百万円(前年同期は2億39百万円の減少)となりました。これは主に、長期借入れによる収入35億等による資金の増加、株主優待費用による支出1億9百万円及び配当金の支払額1億円等による資金の減少によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率(%)	74.5	74.2	79.5	79.0	66.1
時価ベースの 自己資本比率(%)	83.3	86.6	68.9	63.4	52.4
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率(年)	0.1	0.2	1.2	—	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ(倍)	15,666.0	394.8	95.1	—	—

自己資本比率：自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債 / キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー / 利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注5) 2023年3月期及び2024年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

(3) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行されたことで、経済活動の正常化が進む一方、物価の上昇や実質賃金の減少による節約志向の高まりなど、厳しい経営環境が続くなか、当社グループは引き続き、お客様の心と身体的美と健康を追求し、お客様の様々なライフステージにおいて、高品質な商品と最高のサービスを幅広く提供し続け、お客様の美しく輝ける人生をサポートする『美の総合総社』を目指していくことをグループのビジョンとし、以下の施策を実施してまいります。

① 従業員満足度の向上

当社グループは、チャレンジできる職域の拡大と適正な評価により、やりがいを高め、従業員満足度を高めることで、さらなる生産性の向上を図り、永続的な成長を目指していくことを方針としております。

今後も多様な働き方を推進していくため、給与制度及び勤務制度の見直しと教育体制の拡充に取組み、採用と育成の強化を図ってまいります。

② 顧客満足度の向上

お客様にご満足いただけるサービスの提供に向けて、従業員の採用と育成をより一層強化していくとともに、新規出店や移転・改装による店舗環境の改善、新たな商品・サービスの拡充、お客様参加型の施策やイベントの開催など、継続して注力してまいります。

2025年3月期の主なお客様参加型のイベントは、自社主催のコンテスト「MCSA2024(マルコシンデレラストーリーアワード2024)」(2024年11月開催)及び、同イベントと連動した「Body Make Challenge」(お客様の体型変化に応じた割引サービスの提供)などを実施してまいります。

③ 集客力の強化

テレビCM、Web広告、各種イベントなどの多彩なプロモーションを実施し、ブランドイメージと認知度の向上を図り、集客力の強化につなげてまいります。特に好調なWebプロモーションの獲得効率の向上を図ってまいります。

④ 商品・サービスの拡充

お客様のライフステージに寄り添った美と健康に向けた新たな商品・サービスの開発・提供を積極的に推進し、お客様にとっての生涯価値を高めてまいります。

また、それらの商品・サービスに関連する企業とのアライアンスなどを積極的に推進してまいります。

⑤ 収益基盤の強化

上記①～④による売上拡大施策に加え、適正な販売価格の追求、システム改善による業務効率の改善、継続的なコスト管理を徹底し、各利益項目の改善を推進してまいります。

また、収益基盤強化の実効性を高めることを目的として、RIZAPグループ株式会社との経営支援に係る契約を継続してまいります。

⑥ SDGsの取組を推進

当社グループは、持続可能な社会の実現に向けて、社会課題解決と事業成長の両立に取り組んでまいります。

具体的には、多様な働き方に対応した人事制度の見直しを図り、女性活躍の推進を継続して進めてまいります。

また、自社施設への太陽光発電設備(2施設)導入によるクリーンエネルギー活用(二酸化炭素削減)と電気費用の抑制など、社会課題の解決と収益性向上の両立による継続性のある施策を積極的に実施してまいります。

以上により、次期(2025年3月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高212億円(前期比8.2%増)、営業利益8億80百万円(前期比59.3%増)、経常利益10億円(前期比62.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益5億80百万円(前期比157.5%増)を見込んでおります。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付けており、業績に裏付けされた成果の配分を行う事を基本方針としておりますが、将来にわたる経営基盤の強化ならびに事業拡大による安定的な成長と、経営環境の変化に対応するために必要な内部留保の充実を図ってまいりたいと考えております。

当期の期末配当金につきましては、1株当たり1円を予定しており、2024年6月26日開催予定の定時株主総会において上程する予定であります。

次期の配当につきましても、期末配当として、1株当たり1円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,556,645	2,564,827
売掛金	5,005,114	6,151,077
商品	1,199,559	1,553,067
原材料及び貯蔵品	156,536	406,399
短期貸付金	—	1,000,000
関係会社短期貸付金	3,000,000	4,000,000
その他	456,340	639,672
貸倒引当金	△62,165	△99,160
流動資産合計	12,312,030	16,215,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	2,091,731	2,150,149
機械及び装置 (純額)	4,187	38,789
車両運搬具 (純額)	565	282
工具、器具及び備品 (純額)	129,741	137,905
土地	1,404,163	1,404,163
リース資産 (純額)	67,968	59,036
建設仮勘定	21,521	6,268
有形固定資産合計	3,719,879	3,796,595
無形固定資産	373,585	294,810
投資その他の資産		
関係会社長期貸付金	40,962	46,320
繰延税金資産	405,302	123,197
退職給付に係る資産	346,139	654,872
その他	961,617	970,752
貸倒引当金	△110,093	△81,178
投資その他の資産合計	1,643,927	1,713,964
固定資産合計	5,737,393	5,805,370
資産合計	18,049,423	22,021,255

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,115,751	1,519,274
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	—	2,146,019
リース債務	16,547	16,953
未払法人税等	276,560	124,073
賞与引当金	220,225	50,000
ポイント引当金	80,000	88,000
株主優待引当金	211,014	208,030
資産除去債務	12,454	5,781
その他	1,212,454	1,312,281
流動負債合計	3,245,008	5,570,413
固定負債		
長期借入金	—	1,353,980
リース債務	58,813	48,550
繰延税金負債	2,068	3,100
資産除去債務	486,344	482,425
その他	4,822	4,097
固定負債合計	552,048	1,892,155
負債合計	3,797,056	7,462,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,491,360	6,491,360
資本剰余金	6,473,978	6,473,978
利益剰余金	1,108,108	1,232,087
自己株式	△82	△89
株主資本合計	14,073,364	14,197,337
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	179,002	361,349
その他の包括利益累計額合計	179,002	361,349
純資産合計	14,252,367	14,558,686
負債純資産合計	18,049,423	22,021,255

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	19,541,481	19,584,406
売上原価	4,704,949	4,820,756
売上総利益	14,836,532	14,763,649
販売費及び一般管理費	14,032,574	14,211,377
営業利益	803,958	552,272
営業外収益		
受取利息	107,696	137,957
受取手数料	38,331	31,857
その他	29,839	36,088
営業外収益合計	175,867	205,903
営業外費用		
支払利息	563	25,128
株主優待引当金繰入額	112,738	97,882
その他	11,632	17,939
営業外費用合計	124,934	140,951
経常利益	854,891	617,224
特別利益		
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	10,414	1,403
受取保険金	—	3,933
受取補償金	26,273	—
その他	974	69
特別利益合計	37,662	5,406
特別損失		
固定資産売却損	405	—
減損損失	15,701	4,023
災害による損失	20,765	2,970
賃貸借契約解約損	156	5,359
その他	7,435	1,006
特別損失合計	44,465	13,358
税金等調整前当期純利益	848,088	609,272
法人税、住民税及び事業税	288,850	181,261
法人税等調整額	45,092	202,736
法人税等合計	333,943	383,998
当期純利益	514,145	225,273
親会社株主に帰属する当期純利益	514,145	225,273

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	514,145	225,273
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	44,363	182,347
その他の包括利益合計	44,363	182,347
包括利益	558,509	407,621
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	558,509	407,621
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,491,360	6,473,978	695,257	△72	13,660,523
当期変動額					
剰余金の配当			△101,294		△101,294
親会社株主に帰属する当期純利益			514,145		514,145
自己株式の取得				△9	△9
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	412,850	△9	412,840
当期末残高	6,491,360	6,473,978	1,108,108	△82	14,073,364

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	134,638	134,638	13,795,162
当期変動額			
剰余金の配当			△101,294
親会社株主に帰属する当期純利益			514,145
自己株式の取得			△9
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	44,363	44,363	44,363
当期変動額合計	44,363	44,363	457,204
当期末残高	179,002	179,002	14,252,367

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,491,360	6,473,978	1,108,108	△82	14,073,364
当期変動額					
剰余金の配当			△101,294		△101,294
親会社株主に帰属する当期純利益			225,273		225,273
自己株式の取得				△6	△6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	123,979	△6	123,972
当期末残高	6,491,360	6,473,978	1,232,087	△89	14,197,337

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	179,002	179,002	14,252,367
当期変動額			
剰余金の配当			△101,294
親会社株主に帰属する当期純利益			225,273
自己株式の取得			△6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	182,347	182,347	182,347
当期変動額合計	182,347	182,347	306,319
当期末残高	361,349	361,349	14,558,686

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	848,088	609,272
減価償却費	400,152	371,807
減損損失	15,701	4,023
長期前払費用償却額	17,926	15,777
貸倒引当金の増減額(△は減少)	17,035	8,079
賞与引当金の増減額(△は減少)	70,915	△170,225
ポイント引当金の増減額(△は減少)	9,000	8,000
株主優待引当金の増減額(△は減少)	9,508	△2,984
受取利息	△107,696	△137,957
支払利息	563	25,128
助成金収入	△10,414	△1,403
受取保険金	△825	△3,933
災害による損失	20,765	2,970
受取補償金	△26,273	—
有形固定資産売却損益(△は益)	405	—
固定資産除却損	4,383	1,006
賃貸借契約解約損	156	5,359
売上債権の増減額(△は増加)	△1,816,171	△1,111,690
棚卸資産の増減額(△は増加)	147,993	△603,370
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	8,816	△45,984
前払費用の増減額(△は増加)	170	△12,572
未収消費税等の増減額(△は増加)	△8,700	△40,338
仕入債務の増減額(△は減少)	244,467	403,522
未払金の増減額(△は減少)	△97,119	181,410
未払費用の増減額(△は減少)	3,519	△46,004
前受金の増減額(△は減少)	△38,450	△3,011
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,237	△84,119
その他	32,981	26,523
小計	△245,860	△600,715
利息の受取額	107,759	135,650
利息の支払額	△566	△560
法人税等の支払額	△163,385	△388,742
補償金の受取額	26,273	—
保険金の受取額	825	3,933
助成金の受取額	10,414	1,403
営業活動によるキャッシュ・フロー	△264,539	△849,031

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社貸付けによる支出	△11,000,000	△6,200,000
関係会社貸付金の回収による収入	8,000,000	5,200,000
貸付けによる支出	△3,000,000	△1,000,000
貸付金の回収による収入	4,350,000	—
有形固定資産の取得による支出	△468,976	△264,292
有形固定資産の売却による収入	30	—
資産除去債務の履行による支出	△49,569	△56,235
無形固定資産の取得による支出	△68,854	△34,768
差入保証金の差入による支出	△38,848	△117,480
差入保証金の回収による収入	54,312	69,271
その他	△7,395	△10,545
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,229,304	△2,414,050
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	3,500,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△25,755	△17,862
自己株式の取得による支出	△9	△6
配当金の支払額	△100,820	△100,920
株主優待費用による支出	△112,463	△109,944
財務活動によるキャッシュ・フロー	△239,049	3,271,264
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,732,893	8,182
現金及び現金同等物の期首残高	5,289,538	2,556,645
現金及び現金同等物の期末残高	2,556,645	2,564,827

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度まで「特別損失」の「その他」に含めて表示しておりました「賃貸借契約解約損」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「特別損失」の「その他」に表示していた7,592千円は、「賃貸借契約解約損」156千円、「その他」7,435千円として組み替えております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

補整下着及び美に関連する商品の販売を行う「婦人下着及びその関連事業」、マタニティ及びベビー向けのアパレルや雑貨の販売を行う「マタニティ及びベビー関連事業」、結婚式場の運営やカフェ・レストランなどの飲食事業の運営を行う「婚礼・宴会関連事業」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場価格等を勘案し決定しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	17,352,679	1,193,455	347,978	18,894,113	647,368	19,541,481
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,400	—	59,842	61,242	1,009	62,251
計	17,354,079	1,193,455	407,821	18,955,355	648,377	19,603,733
セグメント利益 又は損失(△)	1,065,556	△110,542	△157,253	797,759	10,009	807,769
セグメント資産	17,405,241	575,162	1,218,843	19,199,247	323,125	19,522,373
その他の項目						
減価償却費	343,909	7,303	34,322	385,535	14,617	400,152
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	805,385	25,813	5,323	836,522	41,227	877,750

(単位:千円)

	調整額 (注) 2. 3	連結財務諸表 計上額 (注) 4
売上高		
外部顧客への 売上高	—	19,541,481
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△62,251	—
計	△62,251	19,541,481
セグメント利益 又は損失(△)	△3,811	803,958
セグメント資産	△1,472,949	18,049,423
その他の項目		
減価償却費	—	400,152
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	—	877,750

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,811千円には、減価償却、株主優待に関連する売上高の調整額が含まれております。
3. セグメント資産の調整額△1,472,949千円は、セグメント間取引消去であります。
4. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表上の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	17,233,140	1,164,133	527,272	18,924,546	659,859	19,584,406
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,413	6,232	45,366	53,012	1,925	54,938
計	17,234,553	1,170,365	572,639	18,977,559	661,785	19,639,344
セグメント利益 又は損失(△)	763,902	△77,187	△127,721	558,993	△1,881	557,112
セグメント資産	21,251,925	658,594	1,295,822	23,206,341	388,055	23,594,397
その他の項目						
減価償却費	319,762	2,102	34,413	356,278	15,528	371,807
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	334,657	—	27,334	361,992	36,618	398,610

(単位:千円)

	調整額 (注) 2. 3	連結財務諸表 計上額 (注) 4
売上高		
外部顧客への 売上高	—	19,584,406
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△54,938	—
計	△54,938	19,584,406
セグメント利益 又は損失(△)	△4,840	552,272
セグメント資産	△1,573,142	22,021,255
その他の項目		
減価償却費	—	371,807
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	—	398,610

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,840千円には、減価償却、株主優待に関連する売上高の調整額が含まれております。
3. セグメント資産の調整額△1,573,142千円は、セグメント間取引消去であります。
4. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表上の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	140円70銭	143円73銭
1株当たり当期純利益	5円08銭	2円22銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	514,145	225,273
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	514,145	225,273
普通株式の期中平均株式数(株)	101,294,660	101,294,549

4. その他

役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

・ 新任取締役候補

取締役 千葉 健人(現 RIZAPグループ株式会社 執行役員 財務経理本部本部長)

・ 退任予定取締役

取締役 鎌谷 賢之

・ 新任監査等委員である取締役候補

取締役(監査等委員) 武藤 元

取締役(監査等委員) 楠 智

※武藤 元氏及び楠 智氏は、社外取締役候補者であります。

・ 退任予定監査等委員である取締役

取締役(監査等委員) 大塚 一暁

取締役(監査等委員) 小島 茂

③ 就任及び退任予定日

2024年6月26日

なお、上記新任取締役候補及び新任監査等委員である取締役候補は、2024年6月26日開催予定の当社第47期定時株主総会の決議を経て正式に決定する予定です。